

第72回地区連盟対抗剣道優勝大会要項

一般財団法人千葉県剣道連盟

- 1 期 日 令和6年11月17日（日）午前9時15分開会（8：20受付開始）
- 2 場 所 船橋アリーナ ※駐車券は事前に精算機で処理を行う。
- 3 主 催 一般財団法人千葉県剣道連盟
- 4 後 援 公益財団法人全日本剣道連盟
- 5 試合種別 【一般】・【高校生】・【中学生】・【小学生】の剣道団体戦
- 6 参加資格
 - (1) 各地区連盟会員で、地区連盟より選出された監督・選手によりチームを構成し、各地区連盟とも試合種別ごとに1チームとする。年齢については大会当日を基準とする。
 - (2) 各種別の選手編成内容
 - 1 各種別5人制とする。補欠は設けない。
 - (ア) 小学生 男女の制限はしない。
 - (イ) 中学生 次鋒は女子とする。（級・段位・学年の制限なし）
 - (ウ) 高校生 次鋒は女子とする。（級・段位・学年の制限なし）
 - (エ) 一 般 先鋒男子18歳以上23歳未満（高校生を除く）
次鋒女子18歳以上（職種はとらない。高校生を除く）
中堅男子23歳以上30歳未満
副将男子30歳以上40歳未満
大将男子40歳以上
一般男子の選手構成は教員（講師を含む）・警察官各1名以内とする。
女子については18歳以上職種は問わない。
 - (3) 監督・選手の変更は所定の変更届により開会式前（受付）に届け出たものについて認める。
 - (4) 出場選手については、各地区連盟の所属会員であることを必ず確認して申し込むこと。
- 7 試合方法
 - ・トーナメント方式により優勝、準優勝、3位（2チーム）を決定する。なお、組合せ抽選は（一財）千葉県剣道連盟大会役員により種別ごとに行う。
 - ・全日本剣道連盟試合・審判規則並びに細則による。
 - ・試合時間は一般高校生4分、小中学生は3分とし、勝負の決しない場合は引き分けとする。
団体戦の勝敗は勝者数法とし、勝者の数によって勝敗を決める。勝者が同数の場合は、総本数の多い方を勝ちとする。なお、総本数も同数の場合は、代表者戦（大将）を行う。
代表者戦は一本勝負とし、勝敗の決するまで行う。一般高校の部4分・小中学生の部3分、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行う。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、勝敗が決するまで継続する。（小学生・中学生2分区切り）
- 8 表彰
 - ・各種別の優勝、準優勝、3位（2チーム）には賞状、賞品等を授与する。

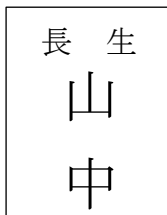
9 申込方法

- (1) 期 日 令和6年11月1日（金）午前中までに必着のこと。
- (2) 様 式 別紙申込書によること
- (3) 申込先 メール（エクセルデータ）で申込み。（申込書の押印は不要）
メールアドレス：kenren@chiba-kendo.or.jp

10 参加料1地区 10,000円 申込と同時に納入のこと。

11 その他

- (1) オーダー表は**各地区連盟**で用意する。（下図参照）
- (2) 児童、生徒の参加者にあつては、健康診断（各学校で実施された健康診断で可）を受けたのち出場させ、地区連盟会長は、地区連盟会長宛に保護者からの出場承諾書提出を確認後参加させること。
- (3) 大会中不測の負傷又は疾病に対して主催者は、応急の処置を施すがそれ以外の責任は負わない。
- (4) 千葉県剣連ではスポーツ傷害保険に加入しているので、大会中の怪我で手続きの必要がでた場合は本部まで連絡のこと。
- (5) 竹刀の検査・計量は、正面入口ロビー（8：20～9：00まで）
なお、小学生の部については、竹刀検査のみ実施（安全点検）し、計量はしない。
各部門とも合格シールのない竹刀の使用は認めない。
- (6) 選手・監督は各地区連盟ごとに会場アリーナ内に9：10に集合整列のこと。
- (7) 選手は必ず地区名および姓の入った名札をつけること。（下図参照）
選手名札例



← 地区連盟名以外は不可
(学校名、道場・クラブ名等は認めない)

(付けない者の出場は認めない)

オーダー表・目印について

各部門のオーダー表を各地区連盟で作成し、事務局に郵送のこと。 **送付期限11月1日（金）**
目印は各地区で用意こと。

作成要領 ①模造紙 縦4分の1サイズ ②書体は毛筆楷書 パソコンで出力の場合は毛筆に近い書体の太字 ③団体名の下に部門名を鉛筆書きする。（小・中・高・一般の部）

〈作成例〉 模造紙縦4分の1サイズ

	先	次	中	副	大
団体名	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○

↑
部門名